

よろこび

発行：東京都福祉施設士会
会長 高橋 紘
〒191-0012 日野市日野 1183-3
至誠第二保育園内
電話 042-849-2239
Fax 042-849-2513
E-Mail shisei@icom.zaq.ne.jp
HP <https://tokyo.dswi.jp>



(夕景富士) Photo by HIROSHI

同志を増やしましょう

○皆様お元気ですか。

○「福祉施設士」は社会福祉施設マネジメント力を身に付けた福祉施設長等の資格です。「日本福祉施設士会」は「福祉施設士」の福祉施設運営能力や資質及び品格を高めあう団体です。福祉施設士会は異業種の福祉施設長の集まりですから社会福祉全体の動きを知り、視野を広げ、運営のヒントを得ることができます。私たち会員は、会の定めた「日本福祉施設士会倫理綱領」と「福祉施設士行動原則～6つの姿勢と12行動～」にもとづいた福祉実践をしています。この活動が私たち自身の資質を維持、向上し、我が国の社会福祉のレベルアップに貢献していると信じております。ぜひ同志を増やしましょう。東京都内に在住の「福祉施設士」資格者62名が、「東京都福祉施設士会」を組織しています。施設長の高齢化が進み、退職に伴い退会する方がおられる一方、本年度は44期福祉施設長専門講座を修了した方が6名入会されました。

○「福祉施設士」は「日本福祉施設士会」に入会=登録することによって前述のような活動に取り組むことができますから、資格者としての誇りをもって活動していることを、対外的に働きかけてはいかがかと思えます。単に「福祉施設長専門講座」を修了し「福祉施設士」の資格証を受けただけの人との差別化を図られてもよいではないでしょうか。

○「福祉施設士」資格取得のための「福祉施設長専門講座」は、本年度、新型コロナウイルス問題を理由に中止となっておりますが、来年度は開催に向けて中央福祉学院で準備中です。12月下旬にはご近所の福祉施設長、理事等をお誘いください。

受講資格は社会福祉施設長（管理者）または理事長・理事または施設長相当の業務を担当している者で福祉関係の資格又は経験2年以上となっておりますが例外も認められています。中央福祉学院のホームページ→「研修案内」→「通信課程」により資料をご覧ください。

○本年は新型コロナウイルス禍により施設運営に関して多くのご苦労があったと思います。心よりお見舞い申し上げます。

○まだまだ続く気配をみせていますので、With コロナによる新日常がいままでない発想の転換、工夫を生み出し、効果的な目標達成ができるといいですね。

○時代の趨勢もあり、活動のデジタル化に挑戦していきたいと思えます。東京都QC発動発表会ではテスト的にオンラインで実施できましたので、来年度に延期となったブロックセミナー始め、諸活動に本格的に取り入れるべく準備中です。

○会報「福祉施設士」10月号に会員の杉氏（江東園ケアセンターつばき施設長）玉木氏（特別養護老人ホーム施設長）のレポートが掲載されています

新規会員インタビュー（一年間の研修を受けて～）

本年度新規会員となった方に「一年間の研修を受けて」の感想をお聞きしました。



社会福祉法人八晃会 宝光保育園 荒井 寿美代
園内で人事異動があり福祉施設士研修を希望しました。一年を通じての研修なので継続できるか不安もありましたが、どうにか研修を終えることができました。講師の先生方、スタッフの方々どうもありがとうございました。研修中に知り合った方もでき、レポートの提出頃には連絡し合いとても励みになりました。皆さんとお知り合いになり、今後も繋がりを感ぜられることは心強く、私自身頑張っていこうと思える研修となりました。

社会福祉法人至誠学舎立川 小百合保育園
玉城 新
福祉士長専門講座を受講させていただくことができ、貴重な一年間でありました。社会福祉法人の一施設の責任を担う者として、知っていなければならないことの「全体」と「部分」の知識をいただくことができました。自分の足りなさについても、具体的に気付かせていただき、今後の課題として改善に繋がっているところです。自身の成長のきっかけをいただきました。

改善(福祉 QC)活動サークル個別指導講座実施状況



施設内の業務を改善していくために、問題点を見つけ現状を分析、把握し、それを解決していくための手法や新たな課題を手際よく達成する方策について学びます。日本福祉施設士会関東甲信越静ブロック主催で開催している講座です。東京都福祉施設士会が運営の事務局を担当しています。今年度は新型コロナウイルスの影響で、7月開催以後毎月1回、4月まで全10回、サークルごとに設定した具体的なテーマで講師の指導を頂きながら改善活動を進めていきます。1都3県、18サークル、東京では9サークルが参加しています。

東京都福祉施設士会主催・改善(福祉 QC)活動発表会

東京都福祉施設士会主催の改善(福祉 QC)活動発表会は、1. QCに取り組んだサークルメンバーの自己実現。2. 施設の福祉基準を向上させていることのアピール。3. 発表施設間の改善情報の共有化。4. QC活動をしていない施設への啓発。を目的として毎年開かれております。

今年は、新型コロナウイルスの影響で開催が危ぶまれましたが、感染対策をとった会場とオンエア方式を取り入れて、令和2年9月15日(火)に開催いたしました。

無料のZoomを利用し、時間内で納める都合上、発表施設を6サークルとさせていただきました。

リモートで申し込まれた発表者や参会者の方々には、会場の至誠ひの宿保育園とのZoomでつなぐテストを2回に分けて行い、相互に画像・音声の確認をし、発表会に備えました。

当日、会場には発表サークル2チーム(各2名)、講師4名、会長他事務局3名で、他4発表サークルや参観者はオンラインでの参加となりました。参観者の中には、東京だけでなく、山梨県、長野県、広島県、山口県、秋田県の施設がありました。オンラインによって遠方施設の参観だけでなく、一台のパソコンを数名でご覧頂いた施設がいくつもあり、多くの方々に見て頂くことができました。

発表会后、参会者に運営に関するアンケートをお願いしたところ、次回も同様の方式での開催を望む意見が多くありました。その一方で、音声が聞き取りにくいとの意見も多く、機械的なテストや機材の選定の工夫が必要だと感じました。

審査講評については参会者全員にお願いし、日本福祉施設士会全国大会審査票に準じて作成された評価表にて行われました。統計後の9月25日、リモートにて表彰式が行われました。順位は以下の通りです。

金賞 社会福祉法人南風会 シャロームみなみ風(チームオリーブ サークル) テーマ「利用者の人員把握を徹底しよう!~利用者所在不明をゼロにする~」

銀賞 社会福祉法人至誠学舎立川 至誠ひの宿保育園(KMR サークル) テーマ「共有物を使いやすくするには」

銅賞 社会福祉法人永明会 いなぎ苑(Nasi Pear サークル) テーマ「司会進行の技術レベルを向上しよう!!」



上記写真は QC 発表会の様子

東京都保育士等キャリアアップ研修



今年度は、新型コロナウイルスの影響で、中止となってしまった研修もありましたが、現在、研修時間3日間15時間の障害児保育(府中コース)を開催しております。今後は研修時間2日間15時間のマネジメント(板橋コース、立川コース)、保護者支援・子育て支援(板橋コース)、乳児保育(大島コース)といった研修を開催致します。いずれのコースも参加費は22,000円ですが、次の条件に該当する受講生は受講料が免除されます。



上記写真は昨年度のキャリアアップ研修の様子

免除条件Ⅰ勤務先が東京都内の①私立認可保育所②公設民営保育所③私立認定こども園④私立幼稚園(施設型給付受給園)⑤地域型特定保育事業所⑥認証保育所Ⅱ受講者が各専門分野におけるリーダー的な役割を担うものとしての経験があり、主任保育士の下でミドルリーダーの役割を担う者(当該役割を担うことが見込まれる者を含む)＝処遇改善等加算Ⅱの受給者

来年度の開催につきましては、現在どの分野の研修(1乳児保育2幼児教育3障害児保育4食育・アレルギー5保健衛生・安全対策6保護者支援・子育て支援7マネジメント8保育実践)を希望するかについて今まで受講したことのある保育園に対してアンケートを取っております。結果を踏まえて、東京都保育士等キャリアアップ研修を可能な範囲で計画する予定です。募集の際にはホームページ(<https://tokyo.dswi.jp>)に記載致します。

オンライン研修のご案内～「自然災害・感染症に対する危機管理」

テーマ①「福祉施設におけるコロナウイルス感染症対応」②「福祉施設における水害・風水害対策」③「福祉施設における大規模地震対策」・・・1つのテーマにつき参加費1,000円。

講師：早川英樹氏(フォックスブルー株式会社 代表取締役) 参加申込締切：令和3年1/20まで。

申込先メールアドレス info@foxblue.jp 視聴可能期間令和3年1/25~1/29。